

嘉麻市社協だより

自慢の料理に  
あふれる笑顔

～平山ふれあい・  
いきいきサロン～

# えがお



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会  
〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内  
TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>  
FAX 0948-83-8005 [info@kama.syakyo.com](mailto:info@kama.syakyo.com)

No.  
81

発行日 2012.11.1

# 人吉市社協が実施する

# 買い物物支援事業について学ぶ

～平成24年度役員・評議員先進地視察研修会～

本会の役員・評議員10名は、9月25日(火)人吉市社会福祉協議会(熊本県)を訪問し、同社協が昨年6月から実施している「買い物支援事業」について学びました。このような先進地の視察研修会は平成19年3月以来で、今回の目的は、本市においても身近にあったスーパーや商店が閉鎖したり、また、バス路線の縮小等で、特に、車を運転しない高齢者の方々からは「日常の買い物がしづらく、経済的にも負担がある」との声があり、このニーズに対して本会としてどう向き合うのか、その解決には、どのような取り組みが必要なのかなどを明らかにしていくことになりました。

今回訪問した人吉市は、熊本県の奥座敷として知られ、人吉城下のたたずまいが色濃



人吉市社協にて事業説明をうける

く残っているため、アーケード街やモール街のような商店などが連なる場所はありません。人口は35,350人、世帯数15,779世帯、高齢化率も30.3%と高く、一人暮らし高齢者等が増える中で、日々の暮らしに直結するニーズも増えていたと言います。

買い物支援事業に取り組みきっかけとなったのは、厚生労働省のモデル事業である「安心生活創造事業」を行う政から一部受託したことだ

そうです。このモデル事業は、基盤支援(見守り・買い物支援)を必要とする方及びニーズの把握、支援の体制づくりなどが求められたため、まず、見守り活動が必要とする方々1,127人に対して「買い物ニーズ調査」を実施したところ、797人の内、140人が買い物に困っている、142人が代行サービスを利用したいと回答されました。

そこで、行政、商工会議所、商店街振興組合など、関係団体等との協議や合同研修などの準備を行い、平成23年6月8日に第1号の商品が利用者宅に届けられました。事業の拠点は、中心商店街の空き店舗を活用した「人吉市買い物支援センター」で、現在2人(当初3人)の買い物支援員が常駐しています。利用するためには、まず事前登録(無料)が必要で、現在86人が登録しています。配達は週1回が原則で、1回につき100円の配達料がかかります。協定を結んでいる62店舗で取り扱っている商品であれば、支援員が1つからでも配達するそうです。また、注文がないときでも安否の確認のために支援員が訪問したり、「自分の目で見て買い物をしたい」との声には、公民館等での販売会を開催するなど、社協らしい事業展開につながっています。

本年8月の実績は、実利用者49人に対して159件の商品を配達し、見守り訪問回数も224回に上り、徐々に利用が増えていくそうです。現状における課題としては、配達が校区ごとに週1回と決まっているため、その日の献立に合わせる事ができなかつたり、また、行政からの補助金があるにしても、利用者からの配達料(1回100円)と協力店舗からの配達手数料(税抜き価格の5%)は僅かで、採算的には赤字であるため、長期的な見通しが立てにくいとのことでした。

質疑応答の時間では、役員・評議員の方々からも、「どの位の距離を配達しているのか」「登録している男女比はどうなっているのか」「商品はどのようにして注文するのか」「届けた商品が気に入らなかつた場合はどうするのか」など、事業の根幹につながる数多くの質疑も交わされ、大変学ぶことの多い、充実した研修会となりました。



人吉市買い物支援センターを見学

先月に引き続き、ひきこもりについて寄稿いただきました。  
第2回目となる今号は、北九州市で父親の会に参加されているご家族の方です。

## 竹の親の会

### (父親の会)

北九州市ひきこもり  
地域支援センター”すてつぷ  
「竹の親の会」(会員(67歳男性))

我が家の息子について何か  
らお話ししたら良いのでしょ  
うか？30代最後の年を迎えこ  
れまでの15年近くを振り返っ  
てみました。

健康で幼少時より殆ど手も  
掛からず、祖父母や妹にも優  
しくどちらかと言えば自慢の  
子でもありました。クラブ活  
動などに入っていない点など  
気がかりもありましたが友人  
関係も問題ない様で、県外の  
大学4年生での就活に躓いた  
のが要因の一つだったのか？  
今でもその要因が解りません。  
卒業後は自宅に戻り、多少の  
波風もありましたが、社会的  
活動に及ばず現在に至ります。

私達が年中無休の仕事の為、又  
”子供は親の背を見て育つ”の  
諺を信じていた為、息子の成  
長の折々の悩みにも気づかず  
過ごしていたのかもしれない  
ん。卒業したら社会に出て、何  
かの形で社会貢献するのが当  
たり前と思っていたので、目  
の前にいる息子にギャップも  
感じて何故？どうして？と私  
達の悩みも始まりました。今  
思えば当の本人の方がその何  
倍も苦しんでいる筈です。打  
ち明けてくれれば相談にも乗  
れるのに何も話さない為に打  
つ手も無かったです。

その間私達なりに、齋藤環  
先生の講演会や関連の著書を  
求めたり、その他にも20冊以  
上の本に目を通したり、北九  
州市中の心療内科の先生に相  
談に行ったり、他にも千葉や  
東京、名古屋、山口、福岡など  
仕事の合間に出かけて行きま

した。今は親だけでも相談に  
乗って頂けるようになりまし  
たが、当初は本人も一緒にと  
言われることが多く、本人が  
社会に出られないのに一体ど  
うすれば良いのか？私達も苦  
しい時期が続きました。これ  
と平行して北九州市の「社会  
的ひきこもり家族教室」の第  
一回より家内が参加して情報  
を得る機会を得て来ましたが、  
これも半年毎に一新していく  
様なシステムで、又担当の方  
も次々に交代されるので、総  
合福祉センターの一室をお借  
りして月一回の会を継続して  
いるそうです。不思議に感じ  
る事は、同じ悩みの家族会な  
のに全く縦の繋がりが無く、  
年度毎に終わってしまう事で  
す。とても半年で解決出来る  
とは思えず、其々のご家族は  
どうされているのか気がかり  
です。私達は幸いにも北九州

市ひきこもり地域支援センタ  
ー”すてつぷ”の関りから定期  
的に集まり、意見交換の場を  
得ました。家族間の問題に父  
親の力がとても大切です。各  
家庭の問題提起が解決の糸口  
になり得るからです。何かの  
切っ掛けで、社会への出口に  
繋がるかもしれません。我が  
家では本人の妹の結婚・出産  
で甥の誕生も希望へと続いて  
います。本人もこの様にして  
親から慈しまれ育てられたこ  
とを追体験していることでし  
よう。家庭が人間同士の最小  
コミュニケーションとすれば、人  
間力の回復こそが社会的復帰  
の第一歩かもしれません。雨  
のち晴れの日が来る事を信じ  
て、毎日少しずつでも会話を  
交わす努力を続けている現状  
です。笑顔で毎日が過ごせる  
そんな細やかな夢のために。



知り合おう 伝えるよう

みんなの活動、地域のホットニュース

# 地域のネットワークを広げて、

## 高齢者を見守ろう

～山野第一ふれあいネットワーク委員会～

各地域において、安心して暮らせるようにと、一人暮らし高齢者の見守り活動が推進されています。

そのような中、山野第一行政区（森原正博区長）では、行政区役員や福祉推進員、民生委員児童委員、福祉部、老人会、食生活改善推進会、ボランティアの協力により、地域のネットワークを生かした声かけ・訪問等を行うふれあいネットワーク委員会を組織し、ふれあい・いきいきサロンの運営や見守り活動を行っています。

同行政区は、飯塚市穂波地区と隣接した位置にあり、市内でも多くの世帯数を有しているところですが、また、他

の地区と同じように、核家族化の進行、高齢化率の上昇とともに、一人暮らし高齢者が増加しているという課題を抱えています。

その課題を解決するためには、地域全体で取り組み、関係者のつながりが必要であると考えた当時の地域福祉部が平成13年、行政区にある組織の各代表に呼びかけ、準備委員会を立ち上げ、福祉のネットワーク作りに向けて動き出しました。地域福祉活動の拠点として、当時稲築町社協が推進していたふれあい・いきいきサロンを開設するため、他地区のサロンを見学したり、サロンの内容を協議するなどの学習会を



平成13年に開催した学習会の様子

1年間程行い、そのメンバーでネットワーク委員会（永富健二委員長）を組織するとともに、月に一度のサロンを開設することとなりました。

そして、サロンの開催を重ねるごとに、一人暮らしの方が抱える不安や日常生活の中での困りごとが浮かびあがり、サロン参加者の方を対

象にした見守り活動を平成15年に始めました。

ネットワーク委員が、それぞれ2名ほどを担当し、訪問時の話し相手や電話での声かけ、自宅周辺の環境変化を確認するなど、その方の実情に応じた見守り活動を続け、今年で10年を迎えています。

永富委員長は、「ネットワーク委員会は、10月で110回目の開催となります。このように活動を長く続けてこられたのは、森原区長を始めとした行政区役員、福祉推進員、民生委員・福祉経験者などみなさんの協力があったからです。これからも地域のつながりと活動の輪を広げる



ふれあいいきいきサロンの様子

とともに、一人でも多くの方に住み慣れた地域で生活してほしいですね。」と今後の思いを語られました。

「無縁社会」や「孤立社会」が声高に叫ばれる中で、お互いの顔を知り合う住民による見守り活動は、単なる「見守り」とどまらず、「つながりをつくる」という重要な側面を持っています。

ふれあいネットワーク委員会では、現在、対象者の拡大をはじめとする、活動のさらなる発展に向けて、検討を行っているっており、地域の方々にもふれあいの輪への参加を呼びかけています。



ネットワーク委員会での協議

# たのしくおいしい まきまきパン



炭火にかざして焼いていきます

秋の爽やかな気候のなか、のびのびと思う存分に汗を流したあとで食べたパンの味は、格別だったようです。

お母さんと弟と一緒に参加した有江小春ちゃん(8歳)は、「お店のパンよりも美味しかった」と声を弾ませました。

大切にし地を持ち炭火に向かった子どもたちは、煙にむせながらも、おいしそうな香りとともに焦げ目がつき、りっぱなパンになっていく様子が夢中になっていました。

みんなが協力して割った竹で作った柄に、小麦粉をねった生地をくるくると渦巻き状に巻き付けていきます。チーズやウインナーと一緒に生地に混ぜる子どももいて、工夫を凝らしながら上手に巻き、思い思いのまきまきパンの生地が出来上がりました。

10月14日(日)、織田廣喜美術館横の公園でプレーパークを開催し、親子9組24名が参加しました。  
プレーパークとは、既設の遊具で遊ぶのではなく、子どもたちが自らの発想を生かして遊びを作り出していくことを言います。危険なこと以外は「ダメ」というように禁止されることもなく、子どもたちは、それぞれのアイデアとスタイルで楽しみ、発見や創造する喜びを味わいます。  
プレーパークの開催は、昨年5月に続いて2回目となりますが、今回は、穎田子育てサポータージャム(代表 浅田なおみさん)のメンバー4人の協力を得て、「まきまきパン作り」にも挑戦しました。



楽しくのびのびと外遊びを楽しみました

## 『パパはがんには負けないぜ』

阿部 敏之 著

平成23年8月に本会が主催した子育て講演会の講師をつとめていただきました阿部敏之さん(平成23年9月逝去)の1周年に際して、これまでの講演の内容や子どもたちの作文をまとめた本が出版されました。

阿部さんは、平成22年4月に膵臓癌が発覚。翌年3月に余命6ヶ月の宣告を受けました。

その1週間後に発生した東日本大震災で問答無用で奪われていく命にいたたまれない憤りを覚え、「生ある限り命の大切さを伝えたい」と自らの癌を公表して、講演活動に打ち込みました。

離婚や癌との闘病から見てきた子どもたちとの関わり方や夫婦関係のあり方、仕事に対する考え方など、優しい口調ながら魂の叫びのような語り口は、講演を聴いた人はもちろんのこと、聞いていない人にも、行間からひしひしと伝わるものがあります。

最愛の子どもたち3人との別れを実感しながら過ごす日々への想い。

これまで仕事人間として家族に向き合えなかったことへの悔い。

どのページからも「真実の思いやり」とは何かが問われるように感じます。

ぜひ、ご家族そろって読んでいただきたい1冊です。

そして、命の大切さを感じていただければと思います。



# かまボランティア 市民活動センター情報

2012年  
11月

## 街頭募金ボランティアに参加しました

10月6日(土)、稲築地区福祉推進員13名が、フレッシュ8、トレードマート、foodway(フードウェイ)のスーパー3店舗の店頭で、赤い羽根共同募金の街頭募金を行いました。

この日は、2カ月に一度開催している定例会の日で、当日の呼びかけでしたが、会議終了後の2時間、買い物客への募金協力を呼びかけました。

foodway(フードウェイ)で活動した樋渡行政区の推進員 大谷直美さんは、「呼びかけがちょっと恥ずかしかったのですが、他の人につられるように大声を出してみたら、後は、不思議と勇気が出てきました。終わってみたらあつという間だったですね」と初めての募金活動の感想を語りました。

赤い羽根共同募金は、地域福祉の貴重な財源として、市民の皆様からの温かい浄財をお寄せいただくとともに、こうした多くのボランティア活動によって支えられています。

福祉推進員のみなさま、ご協力ありがとうございました。



foodway(フードウェイ) 稲築店



トレードマート 稲築店



フレッシュ8 稲築店

各店舗前で街頭募金を行う福祉推進員のみなさん

## イベント・ボランティア情報

### 嘉穂特別支援学校 ～アート展～

展示期日 11月27日(火)～12月3日(月) 9時～21時 ※最終日は15時まで

会場 イオン九州株式会社 穂波店 1階ふれあい広場  
飯塚市枝国長浦666-48

展示内容 生活単元学習・作業学習・美術科等で児童生徒が作成した学習作品など

### 第12回福岡県ねんりんスポーツ・文化祭

日時 ●11月17日(土) 10時～17時  
●11月18日(日) 10時～16時

会場 石橋文化センター 福岡県久留米市野中町1015

内容 キャスターの小倉智昭さんによる記念講演、ねんりんファッションショー、合唱フェスティバル、民謡コンクール、県内の小学生が描いた自慢の絵を展示した「おじいちゃん・おばあちゃんの絵コンクール」等

お問い合わせ先 福岡県社会福祉協議会  
福岡県ねんりんスポーツ・文化祭実行委員会事務局  
電話 092-584-3377

### 冬休み期間中のボランティア

本会が実施する日中一時支援事業で、子どもたちと一緒に遊んでいただける方を募集しています。

日時 12月21日(金)～1月9日(水)  
※12月29日～1月3日及び日曜を除く  
8時～18時の間で、ご都合の良い日・時間帯

場所 嘉麻北日中一時支援事業所 鴨生339  
嘉麻南日中一時支援事業所  
山田ふれあいハウス内 上山田502-6

活動内容 子どもたちの遊び相手、勉強の補助、クリスマス会の準備や当日のお手伝い

備考 動きやすい服装でご参加ください。また、時間帯によって、弁当、お茶をご準備ください。

《お問い合わせ・お申し込み先》 かまボランティア・市民活動センター ☎0948-42-0751

# 12月の総合相談

法律相談は予約が必要です。  
先着順となっていますので、お早めにお申し込みください。

## 法律相談

と き: 12月6日(木) 13:00~16:00  
と ころ: 山田ふれあいハウス

と き: 12月20日(木) 13:00~16:00  
と ころ: 稲築住民センター

## 心配ごと相談

と き: 12月12日(水) 13:00~15:00  
と ころ: 稲築住民センター

と き: 12月26日(水) 13:00~15:00  
と ころ: 稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会  
☎0948-42-0751

# 法人運営 INFORMATION

嘉麻市社会福祉協議会では、下記のとおり評議員会を開催しました。

第27回評議員会 《開催日》 平成24年9月24日(月)

【議案第47号】 平成24年度第一次補正予算について

【議案第48号】 理事の補欠選任について

## 苦情解決第三者委員が改選

任期満了にともなって、本会の苦情解決第三者委員が改選されたのでお知らせします。

任期は平成24年9月1日から平成26年8月31日までです。

第三者委員は、福祉サービスの利用者等からの苦情の申し出に対して、第三者の立場から助言等を行い、解決につなげる役割を担います。

氏 名	選出区分
山下 晃	民生委員児童委員
吉松 保則	民生委員児童委員
福田 哲也	司法書士

※敬称略

## 生演奏で 一足早いクリスマス

山田ふれあいハウスにおいて、今年も恒例のクリスマスコンサートを開催します。

今回は、山田音楽愛好会のみなさんがジングルベルなどのクリスマスソングをはじめ、童謡や演歌など、幅広いジャンルの楽曲を演奏します。

年代を超えて楽しむことができますので、ご家族、ご友人お誘い合わせのうえご来場いただき、一足早いクリスマスをご堪能ください。

### 記

日時 平成24年12月22日(土)  
午後1時~午後2時

会場 山田ふれあいハウスホール  
(嘉麻市上山田502番地6)

演奏 山田音楽愛好会のみなさん

内容 第1部 クリスマスソング、童謡など

第2部 歌謡曲、演歌メドレーなど

入場 無料

問い合わせ 山田ふれあいハウス

0948-5211847

## 「読めば答えが見つかるかも」 社協だよりクイズ?

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

### 問題

2ページにおいて、買い物支援事業について掲載していますが、中心商店街の空き店舗を活用した、この事業の拠点はどこでしょうか。

- (1) 人吉市商店街支援センター
- (2) 人吉市福祉支援センター
- (3) 人吉市買い物支援センター

### 応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号、住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、11月30日(必着)までに、ハガキ、またはEメールでご応募ください。

### 送付先

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3

嘉麻市社会福祉協議会

E-mail: [tiki@kama.syakyo.com](mailto:tiki@kama.syakyo.com)

### ◆前号のクイズの答え(1)

西郷地区の「水神様祭奉納子ども相撲大会」の起源といわれているのは、戦国時代でした。

応募のあった方から、社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・知り合おう伝えよう、炭鉱の記憶など！街づくりの活性化につながっていくように感じました。

・嘉麻市の凄いとこや凄いとこが分かりやすい。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

「我が青春の門」―大隈

私の生まれ育った所は大隈町1255番地。高校卒業までを過ごした少年期の頃が唱歌「故郷」の歌詞と重なって思い出されます。

1、兎追いし彼の山 小鮎釣りし彼の川

生家の裏山を奥深く登ったところに「うまんこね」という山(高原)があり、遠足に行つたことや、父に連れられて兎狩りをしたことが思い出されます。

前庭に出ると嘉麻川沿いに広がる一面の田んぼの向うに益富神社・城山を見晴らすことができました。嘉麻川で校外スケッチをしたり、小鮎釣りをしたのも楽しい思い出です。学校の帰りに田んぼの中の一木道から青き山々を眺めては、「馬(馬見山)が胡椒(胡椒山)食つて屁(屏山)へつた」と大声で歌いながら下駄履きで通つていた悪ガキの頃を懐かしく思い出します。

2、如何にいます 父母 恙無しや 友がき

戦後復興期の厳しい時期に、早朝から日暮れまで農作業に励んで子ども6人を育ててくれた両親の恩義を忘れることはできません。

中学卒業の頃はまさに小説「青春の門」そのもので、炭鉱の閉山に伴つて大勢の友人が臨時列車で関西や東京に集団就職をする時代でした。生徒会を代表して校庭でお別れの挨拶をし、バスを見送つたことが思い出されます。その後都会で活躍している友人たちからの手紙や写真を見るたびに、大隈がいかに田舎で文化果てる地なのかと感じ始めました。そして自分も東京に出て羽ばたきたいという青雲の志を抱いたものです。

3、志を 果たして いつの日にか 帰らん 山は青き故郷 水は清き故郷

中学で初めて教わつた英語に興味をもつたことがきっかけで高校、大学と英語に親しみ、国際的な仕事をしたいと考えてJT B(日本交通公社)に就職しました。山野を駆けめぐつていた粗野な少年期に、大隈唯一の映画館・大衆館から流れていた欧米の映画のテーマ曲の数々は田舎町においてはとても貴重な文化の潤いでした。この刺激もあつてか青雲の志は更に大きく世界へと高まつていったものと思えます。大隈から東京に出てきて、まさかニューヨークの地に責任者として赴任することなど夢にも思つていなかったことが実現しました。一緒に赴任した妻と時々「故郷」を口ずさむことがありましたが、なぜかいつも大隈の風景が浮かんできて、望郷の念で涙ぐみ声を出して歌えなくなつたものです。

「志を果たして いつの日にか帰らん」大隈を離れて50年、我が故郷は常に心の支えでありました。お世話になつた皆様へ感謝申し上げます。



神奈川県藤沢市在住  
眞次敏夫さん(66才)  
大隈出身

シリーズ No.68 炭鉱の記憶

左の写真は、昭和20年頃の旧碓井町の中心部であつた飯田通りの様子で、当時珍しかった車が、立ち並ぶ商店街の間を走り抜け、炭鉱全盛期の活況ぶりがうかがえます。

この通りには、約45軒の商店が軒を並べたほか、碓井館、双葉館、中央館という映画館が3軒もありました。上映以外にも、芝居や舞踊、浪曲などの発表も連日行われており、また、碓井館は、現在の飯田区民センター、双葉館は飯田の駅通り付近、中央館はうすい中央ストア付近と、わずかな距離の間にあつたことから、娯楽の場としてなくてはならない存在であつたように思われます。さらに、酒場も多くあつたこの通りには、夜になると明日の活力を養う炭鉱労働者で深夜まで賑わつたそうです。



商店が立ち並び、買い物客で賑わつた飯田通り



当時、飯田地区を代表した市場「飯塚青果碓井支店」

右の写真は、飯塚青果碓井支店という市場です。現在はいすい中央ストアとしてその姿を変えています。農業をやりながら炭鉱に従事している人が多くいたことから、この市場が建てられたそうで、農産物を取りめる人とそれを買い求める人の往来が一日中絶えなかつたと言います。

閉山にもなう人口の流出により、栄えていた商店街や市場も姿を変え、現在に至っています。

今は新しい道路ができ多くの車が行き交う飯田地区ですが、この写真からは、それにも劣らない、炭鉱で働く人やそれを支えた家族や地域の人の息吹が伝わってくるような気がします。

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。(TEL 0948-42-0751)



みなさまの善意、  
心より厚くお礼申し上げます。

寄附・香典返し

9月1日～9月30日受付分



●香典返し

〔漆生本村〕

親族 故 十 時 俊 男 様  
親族 故 十 時 俊 一 様

〔東岩崎〕

親族 野 上 政 代 様  
親族 野 上 宗 利 様

〔鴨生第二〕

親族 矢 羽 田 良 子 様  
親族 矢 羽 田 信 義 様

〔漆生東〕

親族 北 島 ヤ ス 子 様  
親族 北 島 か ず 子 様

〔錢代坊〕

親族 大 江 ミ サ ヨ 様  
親族 大 江 力 夫 様

〔飯田〕

親族 中 嶋 香 代 子 様  
親族 中 嶋 シ ズ 子 様

〔六四田〕

親族 組 坂 英 昭 様  
親族 組 坂 シ ゲ ノ 様

〔百々谷〕

親族 故 粉 井 治 様  
親族 故 粉 井 治 様

〔西川〕

親族 故 木 山 峰 子 様  
親族 故 木 山 敏 美 様

〔下宮〕

親族 故 角 育 枝 様  
親族 故 角 禮 子 様

〔昭和〕

親族 北 村 美 智 恵 様  
親族 北 村 正 弘 様

〔三菱第一〕

親族 尾 崎 千 鶴 様  
親族 尾 崎 陽 一 様

〔三菱第二〕

親族 筒 崎 ト シ 子 様  
親族 筒 崎 八 重 子 様

〔山下〕

親族 三 船 正 浩 様  
親族 三 船 正 俊 様

〔下益〕

親族 野 村 佐 和 子 様  
親族 野 村 キ ク エ 様

〔椎木〕

親族 田 中 和 夫 様  
親族 田 中 タ ツ 子 様

〔桑野〕

親族 田 中 ハ ル エ 様  
親族 田 中 ハ ル エ 様

〔宮吉〕

親族 永 吉 邦 愛 様  
親族 永 吉 正 一 様

〔上〕

親族 故 中 村 邦 子 様  
親族 故 中 村 房 夫 様

●初盆返し

〔漆生本村〕

親族 野 見 山 利 三 様  
親族 野 見 山 利 一 様

〔西郷〕

親族 田 中 龍 治 様  
親族 田 中 周 作 様

〔一般寄附〕

嘉穂の名水愛好者一同  
〔子育てリユース〕

〔子育てリユース〕

漆生本村 匿 名 様  
山野第二 西村 優起 様

〔アルミ缶〕

飯塚市 廣瀬 陽子 様  
飯塚市 平田 愛香 様

〔古切手〕

漆生中央 松田 茂 様  
漆生中央 渡邊 澄子 様

〔使用済テレカ〕

漆生中央 渡邊 澄子 様  
漆生中央 渡邊 澄子 様

〔使用済テレカ〕

漆生中央 渡邊 澄子 様  
漆生中央 渡邊 澄子 様

〔使用済テレカ〕

漆生中央 渡邊 澄子 様  
漆生中央 渡邊 澄子 様

〔使用済テレカ〕

漆生中央 渡邊 澄子 様  
漆生中央 渡邊 澄子 様

〔使用済テレカ〕

漆生中央 渡邊 澄子 様  
漆生中央 渡邊 澄子 様

あなたの会費が、社協の  
地域活動を支えています

会員として、次の方々にご加入いただきました。  
(敬称を省略させていただきます)

9月1日～9月30日受付分

〔漆生本村〕松熊三和子

〔漆生中央〕松田茂(二口)、松田クニ子

〔稲築才田〕重松重未

〔口春〕成富恵三郎、成富ヨシエ

〔樋渡〕江藤隆行、藤春チエ子、藤春ユキエ、花岡スミ子、花岡善博

〔平東〕佐伯照雄、岩井モリ子、平川勝利、梶原信義、藤沢洋一(三口)、入江守、矢羽田正人、小坪敏子、石川愛子、山口美香子、中嶋シツ子、内野ヒサヨ、縄田進、松尾美代子、西シズカ(二口)、大隈繁行、酒井ヒロ子、西田哲也、加藤友二郎、村上博美、岡本桂子、宮崎啓子、鬼丸砂子、高松徳一、梶原清、森明、佐藤正、櫻井孝一、高橋正吉、鷺山誠、梅野春夫、津田ノブ子、中野智子、島田美喜子、山下サツエ、梅林道子、早川ツユ子、佐野君代、西まゆみ、安倍緑、林田政光、丸山光男、高木チツ子、稲田鉄男、藤田義輝、足立愛香、古賀千尋、米矢正志、飯田和代、宇野泰司、山本重勝、末武勲、是勝、野口清司、瀬戸山照香(二口)、野田福江、中村カズエ、久保田範子、服部富美子

〔平山〕實藤仁美

〔飯田〕佐々木和代

- 〈熊ヶ畑第二〉広瀬澄夫、米満正雄、本川泰子、室井照美、筒丸千月
- 〈熊ヶ畑第三〉平嶋モト、平嶋茂、平嶋宏行、平嶋狷介、平嶋泰、中原英洋、野尻六直生、平嶋勉、大里孝子、大里廣、大田小夜子、大田富士雄、平嶋登、有田サワエ、福岡重人、大田一利、大田悟、藤本アヤ子、吉田レイ子、岩崎キミ子、大田恵美子、福岡ウタ子、平嶋利喜松、平嶋ツヤ子
- 〈百々谷〉稲富静代、高見敬次、長谷川はるみ、渋谷香、川上アイ子、太田シズ子、吉村英雄、福井政子、石井春美、阿部久代、尾木八重子、坂本崇栄
- 〈尾浦第一〉大塚喜久松、中西絹代、青井志磨子、宮本律子、平田一藤、野上ツギ子、中村道彦、中西ふくよ、桜井潔、大津弘子、萩尾征男
- 〈天神〉井上誠、井上智子、米沢八重子、松岡梅香、松岡由美、松岡一彦、野見山喜代子、中野達男、鳥居香代子、城丸正治、江藤富美子、島田睦男、島田久子、城丸貴久枝、木下俊明、赤木松夫
- 〈西川〉中村隆、花田勝美、松吉美和子、花田清寿
- 〈木城〉水之江哲実、小山一識、小山寧子、米元ナツエ
- 〈中山山下〉前田幸利
- 〈大橋〉西野フミ子、田中正子、岡島国子
- 〈中央〉山口由一郎
- 〈原町〉山木正夫、高倉純子、國本美紀子、寺田守、寺田和子
- 〈三菱第一〉三宅康子、石井秀美、朝倉義輝、西恭子、高橋政雄、中村順子、古川豊、国崎博、原キク子、木村トモ、能塚敏彦、野見山幸代
- 〈三菱第二〉北島弘秋
- 〈ゆうひが丘〉大森時清、大森キク、梶原久美子
- 〈上西郷〉有田美代子
- 〈上〉大田俊夫
- 〈白吉〉松向秀昭、浦田守、穴井峯敏、定政一、青木トシ子、青木正親、浅野英子、飯田恒喜、今村ハル子、大野サツエ、河村一、木下トミ子、桑野スズ子、後藤トキエ、田中和昭、久恒清、藤田真吾、松岡フジエ、松向清茂、森本月夫、角本房恵、木村豊次

## コラム 交差点

体育祭、運動会に遠足と、この時期の子どもたちの楽しみは「お弁当」です。

私には、今でも思い出出す40数年前の小学校時代の遠足のお弁当があります。

テレビの時代劇で見た竹の皮に包んだ大きな白おむすびがとてもおいしそうで、母親に「おむすびを竹の皮に入れて」と頼みました。

今は、竹の皮を売っているところを見ることもありませんが、当時でもどこにでもあるものではなかったように記憶しています。母親は車の運転ができませんでしたので、バスで買いに行ってくれたのか、当日は、大きなおむすび2個とタクアンが立派な竹の皮にくるまれていました。

私は、自慢げにそれを広げ食べていましたが、周りの友人の反応は「何それ？」「変なことだった私の期待とはまったく裏腹のものです。奇異の目に包まれ、次第に食べることにすら恥ずかしい気持ちと、私のわがままに添えてくれた母親への感情が入り交じり、とても複雑になりました。ましてや、冷えたおむすびはテレビで見るとは大違いで、決しておいしいものではありません。逃げ出したいのを抑えて残さずに食べることだけが私にできる母親への精一杯のお礼だったように思います。

最近では、アニメのキャラクターや動物などを模ったいわゆる「キャラ弁」が登場し、子どもたちの自慢の一つになっています。中には、芸術作品の域や、食べるにはもったいないくらいのお弁当を目にすることもあります。ウインナーがタコになったり、リンゴがウサギになったりしただけで大喜びしていた私の小さい頃は、まさに「時代が違う」ようです。

決してキャラ弁を否定するわけではありませんが、ブログや雑誌などで豪華なキャラ弁が競い合うように紹介され、それがエスカレートしていく風潮を見てみると、ちょっと首をかしげたくります。

キャラ弁は我が子への愛情表現の一つであり、他人と競い合うものではないはず。また、そうしたことを得意とする方やできない事情がある方のお弁当も、たっぷりの愛情がこめられていくものだと、それは、あの時の竹の皮に包まれた大きなおむすびがそうだったように……

キンモクセイの花が爽やか秋風に乘って香る頃になると、なぜか、冷えた白おむすびの味と、母親の顔がよみがえってきます。

(K)

## 嘉麻市社会福祉協議会指定 葬祭場紹介

## 善光会館 稲築会場

嘉麻市鴨生277-17 ☎(0948)83-5000

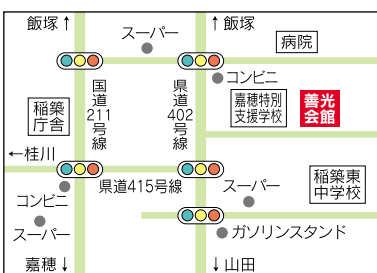
葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定をお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



善光会館の互助会制度は、万が一の時には遺族の負担を減らし、安心という大きなメリットを残します。事前見学も随時受け付けていますので、お気軽にお越しください。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、善光会館稲築会場を含め、市内に8カ所あります。

- おかむら葬祭岡村会館……………☎42-4420
- 飛鳥会館 南斎場……………☎42-4241
- きど葬祭やまさ碓井斎場……………☎62-4499
- ひさつね会館……………☎52-0758
- いすや会館……………☎57-4444
- セレモニーホールおおつか……………☎52-1212
- かほ葬祭 あじさい会館……………☎62-5566



三枝さん

赤間さん